

ひょうご伝説紀行

- 語り継がれる村・人・習俗 -

不思議な壺の流れ子 大坪村の地名伝説



伝説 不思議な壺の流れ子
大坪村の地名伝説

紀行 大坪の流れ子

関連情報 用語解説
参考書籍
所在地リスト

不思議な壺の流れ子 大坪村の地名伝説

佐用川（さようがわ）は、西播磨（はりま）を流れる清流、千種川（ちくさがわ）の上流にあたります。この佐用川には、いくつか不思議な伝説が残されていますが、これもそのひとつです。

その昔、佐用川に大きな洪水（こうずい）がおきました。あたり一面にあふれた水が、ごうごうと流れているとき、川上から大きな壺（つぼ）が流れてきて、ある川岸にとまりました。集まってきた里の人たちが不思議に思い、おそろおそろふたをあけてみますと、中から五、六歳ほどの男の子が出てきたのでした。

人々はおどろきながらも、男の子を里へ連れ帰りました。そして「流れ子」と名付けて、たいそうかわいがって育てたのです。

流れ子はたいへんかしこい子に育ちました。里の人たちと一緒に、毎日かいがいしく働きます。それだけでなく、自分が乗ってきた壺で酒を造りましたが、それは、どんな病気の人でも一口飲めばたちまち治ってしまうという、不思議な酒でした。

流れ子のおかげで、村は豊かになり、たいそう栄えました。これはすべて、流れ子と壺のおかげだということで、人々は、村の名を「おおつぼ」と呼ぶことにしました。

そんなある年の水無月（みなづき）のころ、どこからともなく柿色（かきいろ）の着物を着た老人が、流れ子の家にやってきました。流れ子と老人は、昔から知っていた友達のように、大きな壺から酒をくみ、歌ったりおどったりしてにぎやかに一日を過ごしました。

ところがその日の夕方、とつぜん、雲がわきあがり、激しい嵐になりました。空は荒れくるい、山が大きな音をたててくずれ、村人たちは、息を殺して嵐が去るのを待ちました。やがて嵐が去ってみると、流れ子の家は、天にまい上がったのか、地中にうまったのか、あと形もなくなっていたのです。

こうして、流れ子の家も、大きな壺もなくなり、今では「おおつぼ（大坪）」という地名だけがのこっているということです。そしてそれ以来、大坪の人たちは柿色の着物をきらうようになったそうです。

紀行「大坪の流れ子」

JR姫新線（きしんせん）の佐用駅（さようえき）から、南へ500mほど下った佐用川左岸が、大坪（おおつぼ）である。佐用川は、今も清らかな流れを保っているが、大坪の地に、流れ子の伝説をうかがわせるものは何も残されていない。



大坪の遠景



佐用川の流れ

壺（つぼ）に乗って流れてきた子供。天変地異とともに消え去った流れ子は、どこからやって来て、どこに去って行ったのだろうか。いったいいつのころの出来事なのか、それすらも伝えていない、とても不思議な伝説だ。

この地を訪ねた折も、ただ流れにえさを求める鷺（さぎ）たちだけが印象に残った。流れ子の伝説を覚えている人も、今はほとんどないそうである。

用語解説

【佐用郡】さようぐん

播磨の北西部に位置し、宍粟郡、揖保郡、赤穂郡と岡山県の英田郡に囲まれた地域。『播磨国風土記』では「讃容郡」として記載されている。古くは「さよ」と呼ばれていた。

千種川上流に当たる佐用川流域の山間部では、古代から鉄を産出し、製鉄がおこなわれた地域と考えられる。中世には赤松氏が支配し、その後は山名氏、尼子氏、毛利氏などの支配を経て、羽柴秀吉が占領した。江戸時代には三日月藩（1万5000石）が置かれて、幕末まで継続。明治維新により姫路県、飾磨県を経て、明治9（1876）年に兵庫県に編入された。

2005年10月に、佐用・上月・南光・三日月の4町が合併して、現在の佐用町となった。現佐用郡は、佐用町一町で構成されている。

参考書籍

	書籍名	刊行年	編著者名	発行者
伝説	郷土の民話西播篇	1972	郷土の民話西播地区編集委員会	兵庫県学校厚生会
	日本伝説大系第8巻	1988	黄地百合子・酒向伸行・田中久夫・福田晃	みずうみ書房
歴史・文化等	兵庫県大百科事典(上・下)	1983	神戸新聞出版センター	神戸新聞出版センター

所在地リスト



大坪

大坪	佐用郡佐用町大坪
----	----------

ひょうご歴史ステーション「ひょうご伝説紀行」は、兵庫県立歴史博物館により管理・運営しております。サイトで使用するテキスト・画像などのコンテンツ全般の著作権は当館に帰属し、無断での複写・転用・転載などを禁止いたします。

ひょうご伝説紀行

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo/historystation/legend/>

編集発行 兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町6-8 0792-88-9011

第1刷 2007年4月1日